

第2章 まちづくりの将来像



第2章 まちづくりの将来像

1. まちづくりの将来像と目標

市民から提出された「地域まちづくりプラン」を基調に、まちづくりの課題、第二次笛吹市総合計画における笛吹市の将来像を踏まえ、まちづくりの理念と目標を次のとおり設定します。

■ 笛吹市の将来像

「第二次笛吹市総合計画」より

<笛吹市の将来像>

ハートフルタウン笛吹 ～優しさあふれるまち～

<基本目標>

- 基本目標1 幸せ実感 　　こころ豊かに暮らせるまち
- 基本目標2 幸せ実感 　　にぎわいあふれるまち
- 基本目標3 幸せ実感 　　100年続くまち

■ まちづくりの理念と目標

<まちづくりの理念>

桃源郷の地に抱かれて、ふるさとに愛着と誇りを感じ、 いつまでも住み続けられるまちづくりを目指します。

本市は、古代の甲斐国の中心地、江戸時代の宿場町として古くから栄え、今日では、全国有数の桃やぶどうの産地、県内有数の温泉観光地として発展してきました。豊かな自然と美しい景観に恵まれ、数多くの観光資源や歴史文化資源が分布しており、市域全体が、さながら風景博物館・桃源郷としての魅力をもっています。

こうした魅力は、本市の誇れる大きな財産です。長い歴史と営みの中で育まれてきた財産を大切に育み、次代に継承していくことは、今を生きる私たちにとって大切なことです。

一方、近年、人口減少や少子・高齢化、情報化、地方分権などが進行し、人々のライフスタイルや価値観も多様化するなど、本市をとりまく環境はめまぐるしく変化を続けています。

また、リニア中央新幹線や新山梨環状道路の整備が進められており、新たな発展が期待されています。

これらの動向を的確に見据え、本市が誇る魅力を再認識し、積極的に活かしていくことにより、「桃源郷の地に抱かれて、ふるさとに愛着と誇りを感じ、いつまでも住み続けられるまちづくり」を目指します。

<まちづくりの目標>

美しい自然と歴史・文化
を慈しみ継承するまち

交流とふれあいを
高めるまち

心豊かな暮らしを
大切にするまち

地域の絆を深め
学びささえあうまち

2. 笛吹市の将来都市構造

(1) 将来都市構造の考え方

「まちづくりの理念と目標」に基づき、将来都市構造については、次のとおり形成方針を設定します。

■ 基本的な考え方

豊かな自然と大地の構造を土台に、コンパクトな都市構造の形成を図ります。

本市の地形は、大きく南部の御坂山地と北部の大蔵経寺山、兜山等の山地にはさまれる形で、御坂山地から北側に緩やかに傾斜する山麓台地と笛吹川周辺の低地部で構成されています。

本市の都市構造は、この大地の構造と地形に即した農地・農村集落を土台に、長い歴史と営みの中で形成されてきたもので、広大な自然や樹園地の中にコンパクトな集落地や里山が分散立地している特色ある構造となっています。

まちづくりの理念である「桃源郷の地に抱かれて、ふるさとに愛着と誇りを感じ、いつまでも住み続けられるまちづくり」を目指すため、本市の特色ある大地の構造を生かし、多様な都市機能や拠点が相互に連携し、魅力を高め、コンパクトで一体感のあるネットワーク型の都市構造の形成を目指します。

■ 将来都市構造の形成方針

【拠点】

中心市街地をはじめ、個性と活力ある多彩な拠点づくりを進めます

石和地区の市街地については、観光の中心としての魅力を高めるとともに、本市の中心市街地として、都市機能の強化と魅力の向上を図ります。

また、産業導入地区等の産業拠点、地域資源を活かした歴史・文化、観光レクリエーションなどの多様な拠点の育成と相互の連携（ネットワーク）を図り、まち全体の活力を高めていきます。

そのほか、地域の日常生活の中心となっているゾーンについては、生活サービス機能の強化や地域の特色を活かした魅力づくりを進め、個性と活力ある生活ゾーンの形成を図ります。

【骨格道路網と主要な交流軸】

周辺都市や地域間、拠点間を結ぶ骨格道路網の強化と、交流軸を形成します

リニア中央新幹線山梨県駅の開業を見据えるとともに、周辺都市や地域間の連携・交流を強化するため、新山梨環状道路（東側区間・北部区間）の建設促進、都市環状道路や都市連携道路、地域外郭道路などの骨格道路網の再編・強化を図ります。

また、骨格道路網整備とあわせ、主要な都市軸を結ぶ「都市軸」、主要な観光交流拠点等を結ぶ「ふるさと交流軸」、笛吹川や金川等の主要な河川を骨格とした「水と緑の軸」など、多様な交流の軸の形成を図ります。

【土地利用エリア】

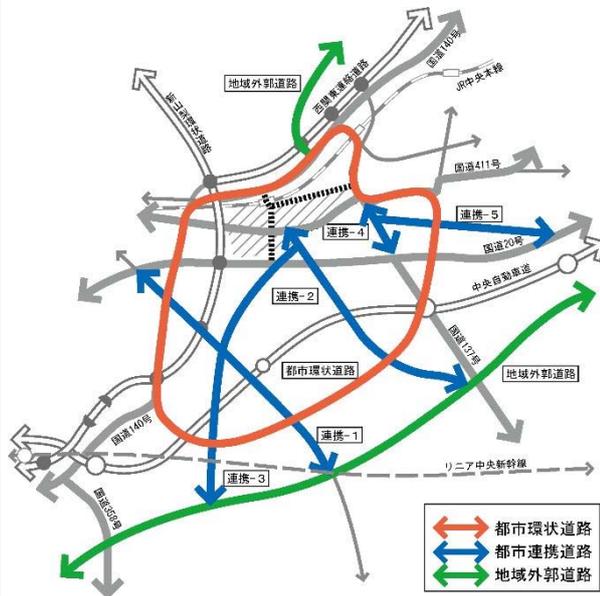
コンパクトな市街地と地域の特性に応じたバランスのとれた土地利用エリアの形成を図ります

本市の特徴的な地形構造や現況の土地利用を踏まえ、「市街地エリア」をはじめ、樹園と共生し良好な居住環境の誘導を図る「樹園居住エリア（都市型）」「樹園居住エリア（農村型）」、良好な農業環境の維持・保全を図る「里山交流エリア」、豊かな自然環境を保全する「森林エリア」の5つのエリアに区分し、各々の特性に応じた計画的な土地利用の推進とバランスのとれた土地利用エリアの形成を図ります。

■骨格道路網と交流軸

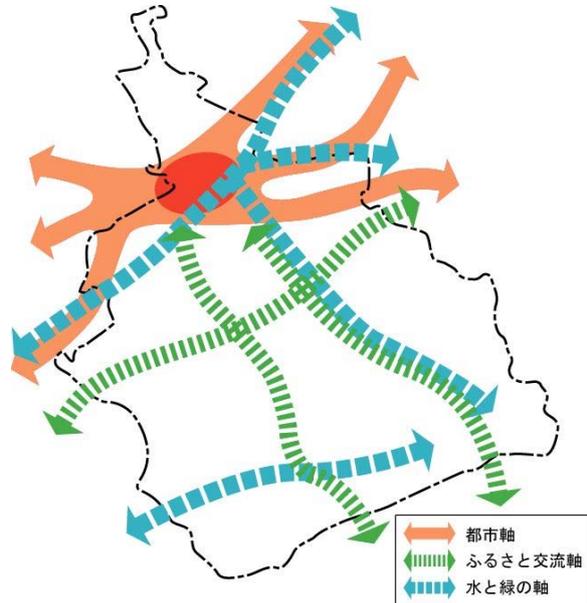
【骨格道路網】

広域幹線道路を中心に、「都市環状道路」と5つの「都市連携道路」、山麓地域を連絡する「地域外郭道路」で、骨格づくりを目指します。

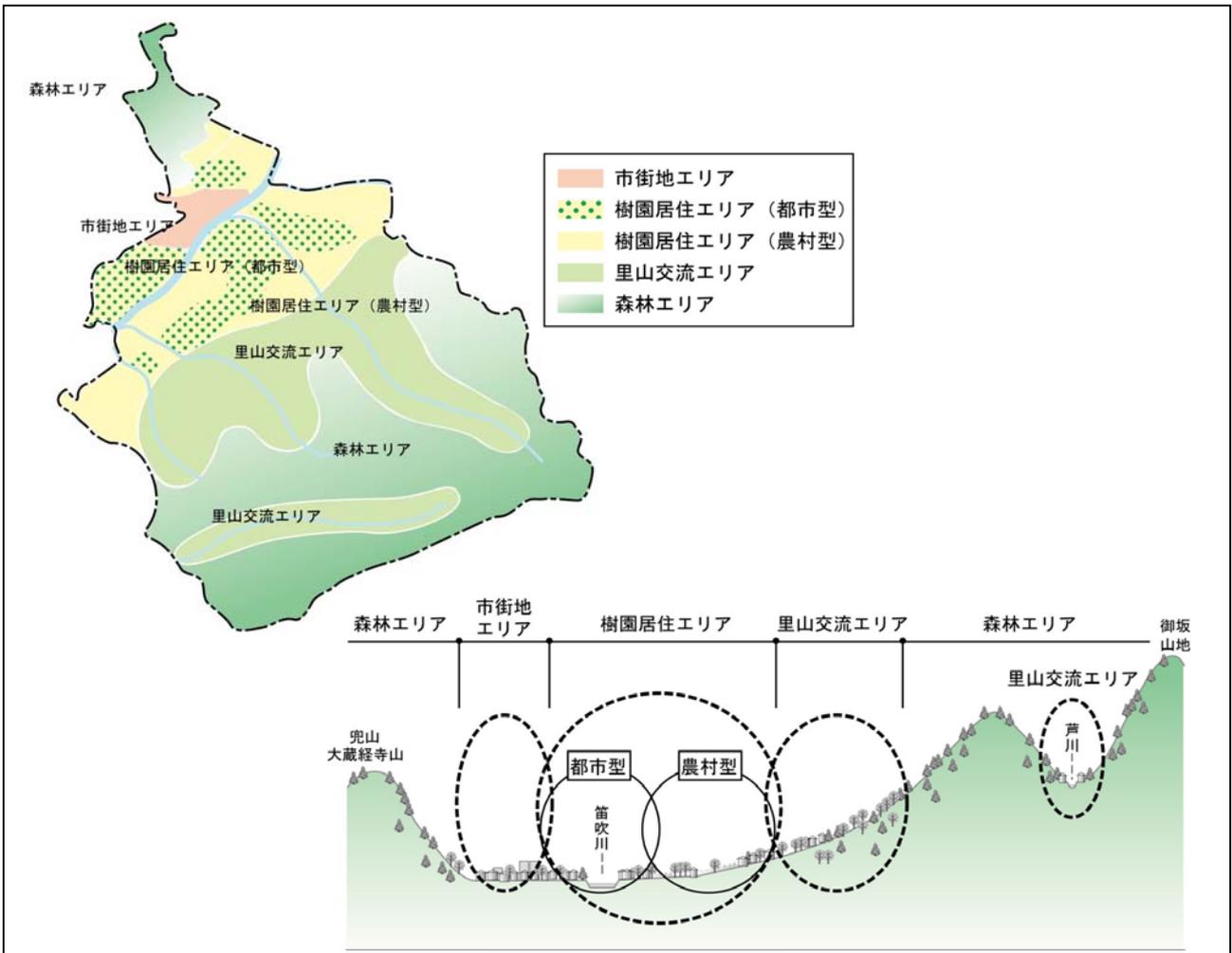


【主な交流軸】

主要な「都市軸」「ふるさと交流軸」「水と緑の軸」の3つの軸の強化・育成を目指します。



■土地利用エリア



(2) 将来都市構造の設定

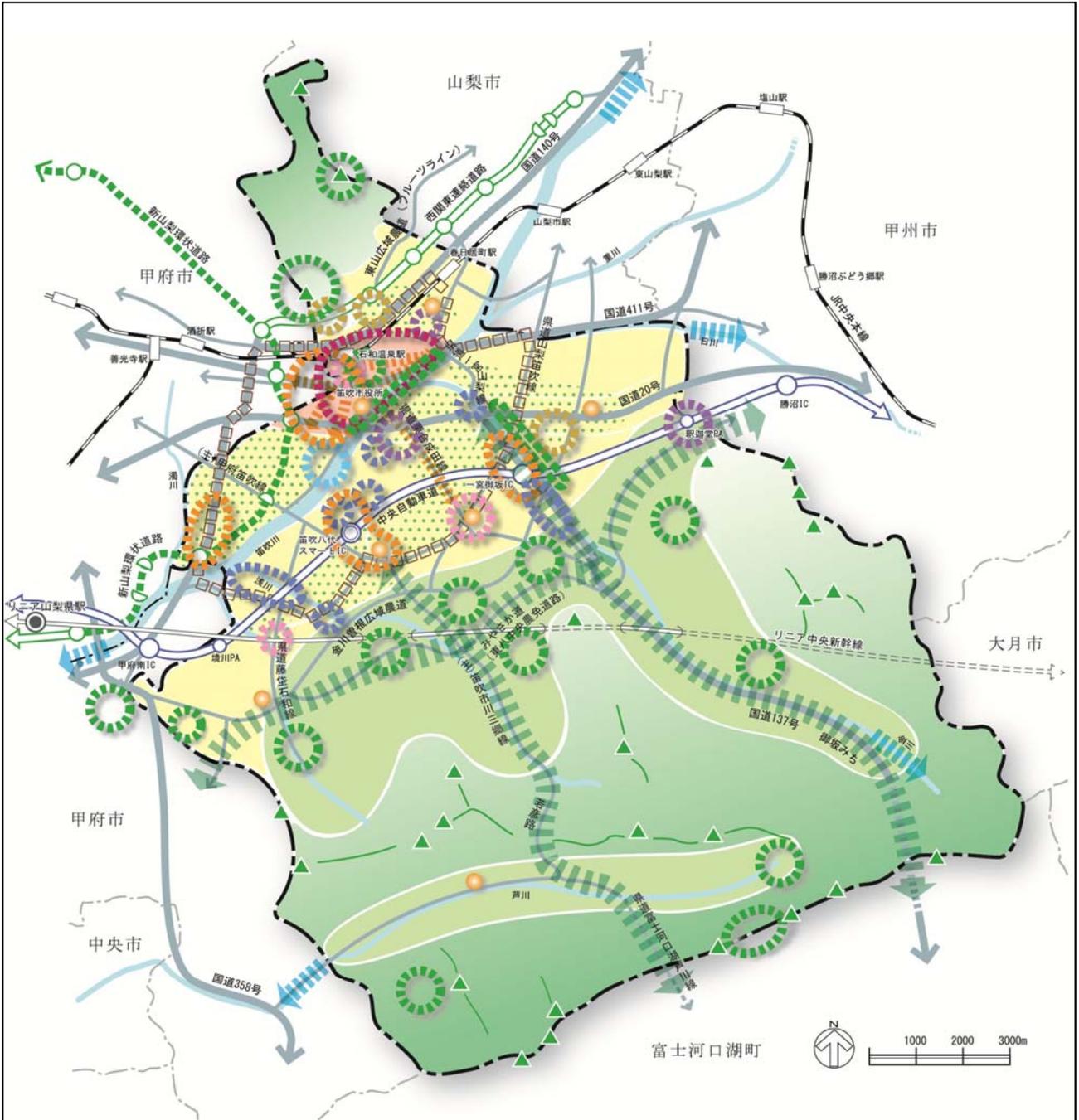
将来都市構造の形成方針を踏まえ、将来都市構造を次のとおり設定します。

■将来都市構造の設定

拠 点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中心市街地(地域拠点)*: 主要な都市機能が集積する本市の中心的な市街地拠点 (石和温泉駅周辺の用途地域) ■ 観光レクリエーション拠点: 多くの市民に利用されている公園や観光レクリエーション拠点 (笛吹川水辺ゾーン、大蔵経寺山・兜山周辺、森林公園金川の森周辺、リニアの見える丘(花鳥山展望台、ふるさと公園展望台)、笛吹みんなの広場、花見台・金沢憩いの森公園、花鳥の里スポーツ広場、御坂路さくら公園、みさか桃源郷公園、ほたるの郷・八代ふるさと公園、藤笠の滝周辺、新道峠周辺、すずらん群生地周辺、芦川グリーンロッジ周辺など) ■ 文化拠点(スコレーセンター周辺): 本市の文化活動の拠点 ■ 歴史文化拠点: 本市の代表的な歴史文化の交流拠点 (県立博物館周辺、釈迦堂遺跡博物館周辺、寺本廃寺跡など) ■ 歴史景観拠点: 本市のシンボリックな歴史景観の拠点 (山梨岡神社周辺、大蔵経寺周辺、甲斐国分寺跡・甲斐国分尼寺跡周辺など) ■ 産業拠点: 工業団地等の産業が集積する拠点 (既存の産業導入地区など) ■ 生活ゾーン: 地域の日常生活の中心となっているゾーン (御坂支所周辺、境川農産物直売所周辺) ■ 新たな都市機能誘導ゾーン: IC 設置等により、新たな都市機能の誘導が望まれるゾーン (一宮御坂 IC 周辺、笛吹八代スマート IC 周辺、新山梨環状道路 IC 周辺など)
主 要 な 交 流 軸	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域都市軸(広域幹線道路)～広域的な都市間交流を担う軸 (国道 20 号、国道 140 号、国道 137 号、国道 411 号、国道 358 号など) ■ にぎわい軸(都市軸) <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地 ((都)石和温泉駅前線、石和温泉街、(都)石和市部通り線)、国道 20 号、県道栗合成田線など) ■ ふるさと交流軸 <ul style="list-style-type: none"> ・ 御坂みち交流軸 (国道 137 号を骨格に富士北麓地域を結ぶ軸) ・ 若彦路交流軸 ((主)笛吹市川三郷線・県道富士河口湖芦川線を骨格に芦川～富士北麓地域を結ぶ軸) ・ 山麓交流軸 (みやさか道(東八中央農免道路)を骨格に甲府盆地の東部山麓地域を結ぶ軸) ■ 水と緑の軸 (笛吹川、日川、金川、芦川など)
骨 格 道 路 網	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高規格道路 (中央自動車道、新山梨環状道路、西関東連絡道路) ■ 広域幹線道路 (国道 20 号、国道 140 号、国道 411 号、国道 137 号、国道 358 号) ■ 都市幹線道路 (都市環状道路、都市連携道路、その他の都市計画道路など) ■ 地域幹線道路 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域外郭道路 (金川曾根広域農道(市道 1-20 号線)、みやさか道(東八中央農免道路)) ・ その他 ((主)笛吹市川三郷線) ■ 交通拠点 (石和温泉駅、春日居町駅、高速バス停など)
土 地 利 用 エ リ ア	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市街地エリア～計画的な市街地の形成を図るべきエリア (用途地域周辺) ■ 樹園居住エリア(都市型)～市街地近郊の樹園と住宅地が混在するエリア (市街地近郊の市街化が進む樹園集落地) ■ 樹園居住エリア(農村型)～山麓の森林や樹園、集落地が混在するエリア (山麓から低地に広がる樹園地を主体とした農業集落地) ■ 里山交流エリア (山麓や芦川の山間に広がる里山と農業集落地) ■ 森林エリア～豊かな自然環境の保全と活用を促進すべきエリア (市域北部の大蔵経寺山・兜山周辺の山地、市域南部に広がる御坂山地)

注) *中心市街地は、山梨県都市計画マスタープランにおいて、地域拠点に位置付けられています。

■将来都市構造



凡例			
拠点	交流軸	骨格となる道路網	土地利用エリア
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地 市役所・支所 観光レクリエーション拠点 文化拠点 歴史文化拠点 歴史景観拠点 産業拠点 生活ゾーン 新たな都市機能誘導ゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑の軸 にぎわい軸 ふるさと交流軸 	<ul style="list-style-type: none"> 高規格道路 地域高規格道路 リニア中央新幹線 広域幹線道路 主な幹線道路 環状道路 山地 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地エリア 樹園居住エリア (都市型) 樹園居住エリア (農村型) 里山交流エリア 森林エリア